

南アフリカ為替週報

2023年10月26日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(10月19日～10月25日)

USD/ZAR: 18.8533～19.1971

ZAR/JPY: 7.81～7.93(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで約0.6%続落。金融市場では中東情勢の緊迫化と、節目の5.0%を超えてから不安定な動きとなっている米長期金利の動向が引き続き焦点となっている。一方、先週は中国政府が財政赤字拡大と国債増発を容認し、景気支援を強化する姿勢を鮮明にしており、ランドにとっては支援材料と言えそうだ。毎年の大型補正予算が定例化している日本とは異なり、中国において年度途中で予算が修正されることは異例である。実際に中国における年度途中の予算修正は1990年代後半のアジア通貨危機、2008年の四川大震災、といったまさに例外的な状況でしか行われたことがない。それだけ、中国当局も国内景気の減速に危機感を持っているということであろう。

経済指標では、特段、注目されるものはなかったが、10月23日には南アフリカ準備銀行(SARB)のナイドゥ副総裁が2025年3月末までの任期を待たずに突然、辞任するという突発的な事案があった。辞任の経緯などは明らかではないが、SARBの金融政策の運営に影響を及ぼす可能性がある。SARBは9月の金融政策決定会合で政策金利を8.25%で据え置いたが、決定は据え置き3、利上げ2の僅差だった。SARBは通常、どの委員が何に投票したかを公表していないが、現地紙によるとナイドゥ氏は金融政策委員会の中で最もハト派寄りの委員と見られている。11月23日に控える次回金融政策決定会合までにナイドゥ氏が副総裁を続けるのか、それとも空席のまま4名の体制で当面は継続するのかが不透明だが、副総裁人事が俄然、市場の注目を集めることとなろう。短期金利市場では、引き続き25bpの追加利上げの可能性が50%前後の確率で織り込まれている。中東情勢の緊迫化に端を発したエネルギー価格の上昇や、米長期金利の急騰に伴うドル高・自国通貨安によって、インフレのリスクは再び高まりつつあると見られることが背景にある。実際に、他の新興國中銀、例えばインドネシア銀行は10月19日の会合にてサプライズで利上げ再開を行っている。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

特になし

＜向こう1週間の見通し＞

(10月26日～11月1日)

USD/ZAR: 18.60～20.00

ZAR/JPY: 7.10～8.20

今後1週間のランド相場は弱含みを予想。引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろう。中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇リスク、米金利の動向、さらに中国の景気対策への期待、と南アを取り巻く環境が大きく変動する可能性があるためだ。米10年債利回りは5%を突破した後、いったん急低下するなど、不安定な展開となっている。米株を中心にリスクオフの動きが広まったこともあり、いったんドル高の流れも巻き戻されている形だ。もっとも、米景気指標は引き続き堅調な内容のものが多く、いずれ米金利上昇・ドル高の流れが再開する公算が大きいように思われる。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

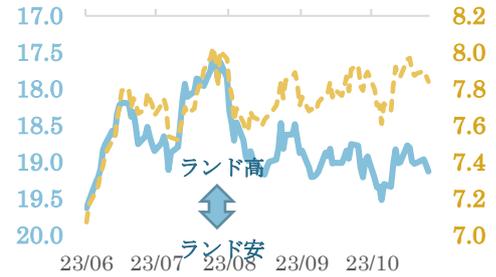
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
10/31	12:00	貿易収支(ZAR)	9月			13.3b
11/1	09:00	製造業PMI	10月			45.4

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



資源価格と南アランド相場

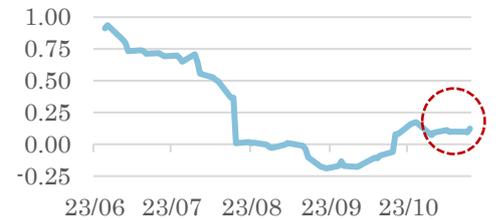
実線: 南アランド対ドル相場(右軸、逆目盛)

点線: ブルームバーグコモディティ指数(左軸)



南アフリカ 2か月後政策金利織り込み

(%ポイント)



※2か月後スタート期間3か月のフォワードレートから、3か月JIBARを差し引いている。

(資料:SARB、南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

＜文責＞

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

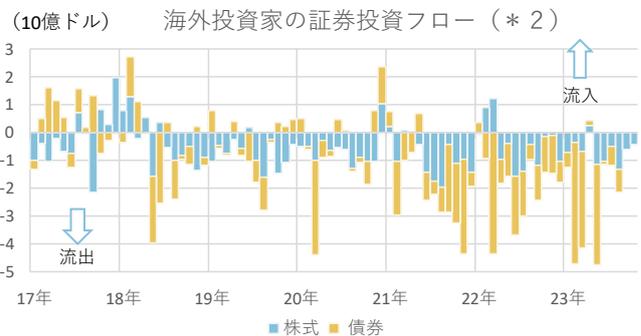
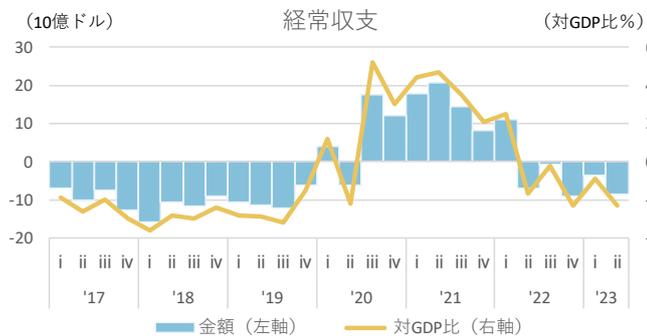
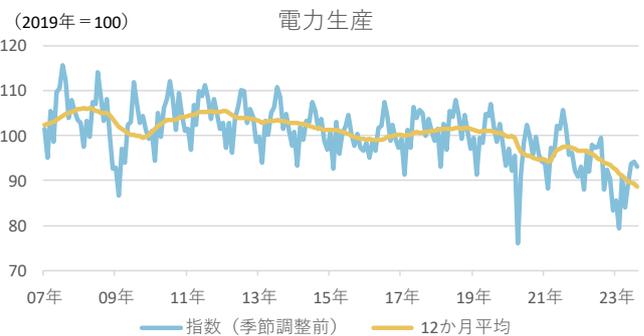
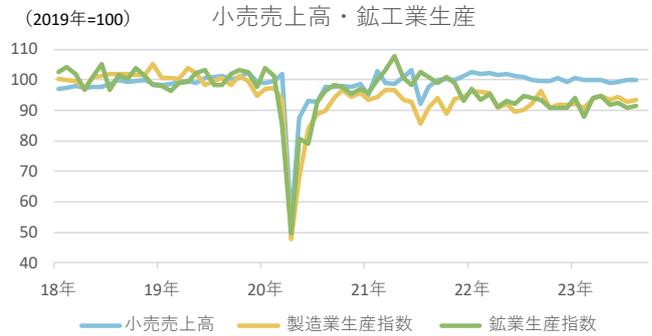
中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

南アフリカ為替週報

2023年10月26日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞



- * 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。
経済アナリストや企業などが調査対象となっている。
ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- * 2 : 月次データ。ただし、2023年10月は1日から24日までの累計値。

(資料；南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。